

課題名	15 無毒化苗木の変異性検定および育苗改善技術	分類	②
	(2) カンキツ穂木の最適貯蔵条件		
試験研究年次	62 ~ 2年(完了)		
<p>I 目的 カンキツ穂木の貯蔵条件が、その後の接ぎ木や活着に及ぼす影響を明らかにして、穂木貯蔵技術確立に資する。</p>			
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試材料 興津早生、大津4号、マーコット、スイートスプリングの各穂木</p> <p>2 処理方法</p> <p>(1) 貯蔵の温度及び期間 63年3月9日採穂後、穂木を袋(ポリエチレン製、厚さ0.1mm)に密閉し、4℃、7℃、室温の各温度条件下で貯蔵し、48、59、68日後に接ぎ木を行った。同様に、2年は3月1日採穂後4℃、10℃、室温の各温度条件下で貯蔵し61日後に接ぎ木を行った。</p> <p>(2) 貯蔵法 1年 3月1日採穂後、密閉：穂木袋の口を密閉、解放：穂木袋の口を解放、乾燥：採穂後5日間室内で自然乾燥し、後穂木袋に密閉、の3区を設定、貯蔵は5~10℃の地下室で行った。対照には興津早生を接ぎ木当日採穂した。何れの処理区も4月26日接ぎ木を行った。</p> <p>(3) 乾燥の程度 大津4号を2年3月20日に採穂、4月25日穂木調整後、5月6~9日にかけて屋内に放置し自然乾燥で、水分含量の異なった区を設定した。区は調整時の水分含量(46.4%)を100として、40、70、90、98の4区とした。5月9日接ぎ木を行った。</p>			
<p>III 主要成果の概要</p> <p>穂木の活着やその後の生育から、穂木の貯蔵は4~10℃の温度変化の少ない低温領域で行い、採穂した時点より穂木の水分含量を2~3%の減少にとどめる必要がある。</p> <p>1 興津早生、大津4号とも4℃、7℃区では、68日間貯蔵後でも活着率は100%である。マーコットは59日間貯蔵後から活着率は低下する。室温では、各品種とも貯蔵期間が長くなると活着率は低下する。特にマーコットの活着率は低い。穂木貯蔵中、温度変化の激しい室温では、穂木の腐敗や発芽がみられる。</p> <p>2 貯蔵法により穂木内水分含量の減少に差がみられ、採穂時点より水分含量が2~3%の減少にとどまった場合、活着率、春枝伸長量は良好である。しかし水分含量が18~20%減少すると活着率は低下する。</p>			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 貯蔵温度及び貯蔵期間と接ぎ木活着率 (63年)

品種名	処理区	貯蔵48日間 4/21接ぎ木		貯蔵59日間 5/2接ぎ木		貯蔵68日間 5/11接ぎ木	
		本数	活着率	本数	活着率	本数	活着率
		本	%	本	%	本	%
興津早生	4℃区	16	100	16	94	16	100
	7℃区	16	100	16	100	16	100
	室温区	19	100	18	100	20	80
大津4号	4℃区	14	100	14	100	16	100
	7℃区	18	94	16	100	14	100
	室温区	20	100	20	100	20	90
マ-コット	4℃区	14	100	16	100	16	100
	7℃区	16	100	18	89	16	94
	室温区	20	90	18	83	18	78

第2表 穂木の貯蔵状態と接ぎ木活着率、苗木の生育 (1年)

品種	処理区	穂木内水分含量		接木本数	活着率		春枝伸長量	
		採穂時	対比(4/25)		5/26	6/8		
		%	%	本	%	cm		
スイート ｽﾌﾟﾘｯｸ	密閉	53.3	98	80	81	12		
	解放	〃	99	80	88	12		
	乾燥	〃	82	50	0	0		
大津4号	密閉	48.6	100	80	87	13		
	解放	〃	97	80	95	15		
	乾燥	〃	80	50	4	6		
興津早生	対照	51.0	—	50	81	10		

注) 対比は、採穂した時点の穂木内水分含量を100とした場合の指数。

第3表 穂木の乾燥程度と活着率 (大津4号) (2年)

処理区	接ぎ木本数	活着率	春枝伸長量(6/12)
40	44本	0%	0 cm
70	44	14	2
90	45	96	11
98	46	100	12

注) 処理区は、調整時の水分含量(46.4%)を100とした場合の指数。

V 成果の評価と取扱上の留意点

カンキツ苗木生産や高接ぎの際の、穂木貯蔵に活用できる。

VI 今後の研究上の問題点

- 1 組織培養等を利用した長期貯蔵技術の開発。
- 2 接ぎ木に好適な穂木内水分含量を、外観から判断する技術確立。

VII 資料名

- 1 63, 元年度福岡県農業総合試験場果樹苗木分場試験成績書
- 2 元, 2年度常緑果樹試験研究成績概要集(農林水産省果樹試験場編集)